Ｎｏ．１

令和２年６月２２日（月）

第2回スピーチ集会

沃野（よくや）

竹富町立
船浦中学校
学校便り
第8号

発行責任者
校長
仲田欣五

「時代遅れから見つけたこと」

（３年　小野　蒼生）

みなさんは、最近のアニメや漫画を見たり、曲を聴いたりしますか。

自分は漫画を読んだり、最近の曲やアニメを全く見ません。なので周りの人が話をしていても、何を言っているか分からなかったり、話を無理に合わせようとして、ついていけないことがよくあります。そんなことがあり、時代や流行に着いていくために最近の話題のものを見たり聞いたりした方がいいのだと考え、いろいろ試してみました。

一つ目に試したことは、漫画を読むことです。しかし、問題がありました。それは、自分が漫画などの本を読むのが苦手だということです。一度話題についていくためにすすめられた漫画を読もうとしたことがあります。しかし、どのコマから読めばいいか分からなかったり、その場面を想像できなかったりして、読むのにとても苦労してしまい、１ページぐらいで挫折してしまいました。

二つ目に試したことは、話題のドラマを見ることです。その理由は、友達に新しい曲をどうやって知るのか聞いたことがあります。その時の答えがドラマの主題歌を聴いて知ったというものだからです。しかし、そこでも問題がありました。それは、自分は恋愛系ののドラマなどはあまり興味がなく、警察系や医療系のドラマを見るのが好きだからです。最近のドラマで話題に上がるのは恋愛系のもので、自分が見ているドラマはあまり話題に上がりません。また、今はコロナで再放送のドラマが多いため、新しい曲だと思ってたが、実はだいぶ前の曲だったりします。

自分でいろいろ試してみると、自分が面白くないと感じるドラマを見ても、集中できなかったり、途中で見るのをやめたりしていました。

ここで自分が思ったのは、話題のものを見ている人は、面白いから見続けられるのだということです。そう言えるのは、自分も昔からずっと見続けているアニメがあるからです。それは、野球を題材にした「メジャー」というアニメです。メジャーを長い間見続けていられるのは、やっぱり自分の好きな野球を題材にしているからだと思います。無理に話題についていこうとしている時は、あまり楽しいと感じられず、逆に、きゅうくつな気持ちを感じてしまいます。しかし、メジャーを見ている時には、楽しく感じ、他の好きなことをしている時や話している時には、自分自身がとても充実しているのに気づきました。

話題についていくために、無理している時には、感じられなかった開放感も強く感じました。

自分はこれらの経験の中で、話題についていくために、無理するよりも自分が好きなことをやりつづけることの方が大事なのではないかと思いました。話題のものが好きな人は、そのままでいいと思います。しかし、好きでもないのに話題についていこうとしていて無理している人や、好きなのか分からず、なんとなく見ているという人は、一度やめてみて、自分がどう感じるのか試してみてください。そしたら、本当に話題に無理してついていった方がいいのかどうか分かると思います。

みなさんは、話題のものを無理して見た方がいいと思いますか？それとも周りのことを気にしないで自分の好きなことに取り組んでいった方がいいと思いますか。

（振り返り　小野　蒼生）

３週間前から書き始めていたのに、ぎりぎりになってしまったのでとても大変でした。また、題名をすぐに書けるようにしていきたいです。次は早く作れて練習する時間をつくるようにしていきたいです。

「ＳＮＳとのつき合い方」

（２年　砂川　侑音）

僕は最近、自分のｉｐａｄに「ＬＩＮＥ」をインストールしてもらったばかりです。親に何度も何度も頼んでやっとインストールしてもらいました。その時に「知らない人とやりとりしない」「オープンチャットを使わない」などの約束を守るようにきつく言われました。僕は「なぜ？」と疑問に思い「何でダメなの」と聞いてみました。その時の親の答えはシンプルでした。それは「知らない人とつながって危ないから」ということでした。僕は、その経験からＳＮＳについて考えて見ました。

最近ニュースやＴＶ番組で「高校生が大麻を所持、ＳＮＳで購入した」などのＳＮＳが関わる出来事をよく耳にします。でも、どうしてＳＮＳが大麻の売買などにつながってしまうのでしょうか。今この世界では「インスタグラム」や「ツイッター」、「フェイスブック」などの簡単に世界中の人とやりとりができるＳＮＳがたくさんあります。僕の兄や友達も実際に使っています。使う時に「フィルタリング」など設定もあるので、それをやれば安心して使えると考えていました。しかし、悪い大人たちはそのフィルタリングをすり抜けていろいろな方法で危険なことを行っています。例えば、「ツイッター」で「大麻」や「麻薬」という言葉を使わず、別の言葉に代えてやりとりすることも実際に行われているそうです。

そして最近ニュースに出てきた「木村花」さんをみなさんは知っていますか。木村さんはまだ２０代でしたが、突然の死を迎えました。その原因に「インターネット上の誹謗中傷」があると言われています。ＹｏｕＴｕｂｅ上のいろいろな動画のコメント欄でも「この動画面白くない、早く消せ」や「うざすぎ、二度と動画出ないで」などのきつい言葉を使ったメッセージが多々ありました。僕に向けた言葉ではないのに、それを見た僕でさえも少し傷ついてしまいました。実際に書かれた本人はどんな気持ちでしょうか。きっと心に傷が残るのではないでしょうか。

インターネットは匿名で話ができます。また、ゲーム内でも音声だけで世界中の人と会話できるなど便利な機能がたくさんあります。しかし、これらの便利な機能も使い方を間違えると誹謗中傷をいう機能に変わります。「インターネットだと本名が分からない」「匿名なら何を言っても大丈夫」　と思ったり相手の顔が見えないためにいつも以上に強い言葉を使ったりしてしまうことがあるそうです。つまり、ＳＮＳ上では誰もが加害者のになる危険性があるということです。インターネットやＳＮＳを使う時は、対面と同じように相手のことを考えたり、自分が言われて嫌なことは書かないなどに心がけることが大切だと思います。

このようにインターネットやＳＮＳでは危険なことがたくさんあります。しかし、その一方でゲームをしたり、楽しい動画を見たり遠くの人と手軽にやりとりができたりと楽しいこともたくさんあります。正しく安全に使うことができれば、便利で楽しいものになります。みなさんも一度ＳＮＳとのつき合い方について、考えて見てはどうでしょうか。

（振り返り　砂川　侑音）

２回目のスピーチをして自分的には１年の時よりも良い内容でできたと思います。最初の文からけっこう手直しがあって赤ペンのチェックばっかりだったので大丈夫かなと思ったけど、ちゃんとした文に仕上がったので良かったです。来年も頑張りたいです。